

刈谷円香プロフィール

仙台市出身 5歳からエトワールバレエ館にてクラシックバレエを始める。

2009年Youth America Grand Prix ニューヨーク決戦にてシニアの部、銀賞、スカラシップ受賞。
伊達クラシックバレエコンペティションジュニアの部にて第一位、英国ロイヤルバレエスクール
サマーセミナー審査員特別スカラシップ賞、オーディエンス賞受賞 その他多数受賞。

2009年ドイツのパルッカシューレへ留学。

2012年卒業とともにバッチェラーオブアートを取得。

2012-2014年スイスのチューリヒバレエ団ジュニアバレエに所属。

所属一年目にDance prize of friends of Ballet Zürich を贈られる。所属中にDouglas Leeの
クリエーション' IRIS' (2012)や、Stephan Thoss、Christian Spuck 等の作品を踊る。

2014-2017年 オランダのネザーランドダンスシアター2 (NDT2)に所属。 ハウスコリオグラファー
である Sol Léon, Paul Lightfootの作品やスウェーデン人振り付け家のJohan Inger など世界各
国の振り付け家の作品を踊る。

2017年夏よりネザーランドダンスシアター1 (NDT1)に所属。

Medhi Welterski の新作' SOON' やOhad Naharinの 'The Hole' を踊る。

2017年冬に、せんだい演劇工房10-BOX主催のワークショップ「まなぶ☆からだ-演劇と表現-」の
「ダンスから学ぶ心の表現」の講師を担当。